

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

碧南市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県碧南市

3 地域再生計画の区域

愛知県碧南市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、2008年3月31日時点の74,092人をピークに、リーマンショックの影響によりその後は人口減少に転じ2015年3月31日には71,685人となった。しかし、2015年度以降は景気の回復にも後押しされ、再び増加に転じ、2021年4月30日時点の人口は72,753人となっている。

しかしながら、国立社会保障・人口問題研究所によると、本市の人口は2030年には総人口が68,938人、2021年4月30日時点の人口と比較して5.2%減少すると推計されている。

年齢3区分別人口をみると、生産年齢人口（15～64歳）は、2005年の47,509人をピークに減少傾向に転じており、2019年において45,903人となっている。また、同年に減少傾向にあった年少人口（0～14歳）11,268人に対し、増加傾向にあった老年人口（65歳以上）が12,629人と1,361人に上回り、総人口に対する割合が逆転した。なお、2019年には年少人口10,170人に対して老年人口は17,111人に増加し少子高齢化が進んでいる。

出生・死亡数についてしてみると、出生数は2004年の820人をピークに年々減少しており、2019年は571人となっている。死亡数については近年増加傾向にあり、2012年から2013年には出生数とほぼ同数で推移していたものの、2014年には死亡数が出生数を上回り、2019年は704人となった。この自然減の状態を解消するべく出生数の減少を抑制する必要がある。なお、合計特殊出生率は、2003年

から2007年の5年間で1.65とピークとなり、その後は減少傾向で推移し、2013年から2017年の5年間には1.57となっている。

転入・転出数の推移では、2001年から2008年にかけては、転入数が転出数を上回る社会増の傾向が見られ、2004年において社会増のピークを迎えた。しかし、2008年に転入数が減少に転じ、その後転出が転入を上回る社会減の傾向になり、2012年頃からは、ほぼ同程度の推移となっている。2019年には527人の社会増となっている。なお、日本人・外国人別の社会増減の内訳をみると、2008年までは日本人、外国人ともに増加しているが、前述のとおり、2008年秋のリーマンショックの影響もあり、2009年は減少に転じ、特に外国人の減少が顕著であった。その後は経済情勢の回復もあり、外国人が増加しているが、日本人は減少傾向が続いている。現在、本市の人口は外国人の増加（2019年では663人の転入超過）によって支えられているため、人口が増加を続けているものの、日本人の市外転出数は、2019年では100人の転出超過の状態であるため、市外への人口流出に歯止めをかける必要がある。

新たな感染症の流行や景気の悪化などを契機として再び人口減少に転じた場合、税収減による行政サービス水準の低下、雇用環境の悪化、空家・空店舗の増加による市中心部のスポンジ化、担い手不足による地域コミュニティの機能低下が危惧される。

これらの課題に対応するため、本計画においては、①しごとづくり、②新しい人の流れづくり、③結婚・出産・子育て環境づくり、④元気あふれる地域づくり、という4つの基本目標を掲げ、自然増や社会増となる取り組みを推進することで、長期的な人口の維持を図る。

【数値目標】

5-2の① に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する地方版総合 戦略の基本目標	
				2020年度まで	2021年度以降
ア	就業者数	38,288人	33,600人	基本目標1	基本目標1
	新規起業・開業数※	75社	80社	基本目標1	-

	設備投資額	45,029,311 千円	46,000,000 千円	-	基本目標 1
イ	転入超過数※	527人	550人	基本目標 2	-
	観光入込客数	2,652,886人	2,200,000人	基本目標 2	基本目標 2
	ふるさと応援寄附金 件数	114,730件	140,000件	-	基本目標 2
ウ	婚姻数※	367組	370組	基本目標 3	-
	出生数※	552人	634人	基本目標 3	-
	女性（20歳～50歳まで） の就業者率	82.5%	85.0%	-	基本目標 3
	合計特殊出生率	1.63	1.65	基本目標 3	基本目標 3
エ	保健・医療に関する満 足度※	70.5%	75.0%	基本目標 4	-
	市民協働に関する満 足度※	61.5%	70.0%	基本目標 4	-
	スポーツに関する満 足度※	68.7%	80.0%	基本目標 4	-
	高齢者（65歳以上）の 就業者率	33.4%	36.0%	-	基本目標 4
	住みやすさ満足度	68.1%	70.0%	-	基本目標 4

※2020 年度までに実施した事業の効果検証に活用

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 及び 5-3 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

碧南市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア しごとづくりに関する事業

イ 新しい人の流れづくりに関する事業

ウ 結婚・出産・子育て環境づくりに関する事業

エ 元気あふれる地域づくりに関する事業

② 事業の内容

ア しごとづくりに関する事業

本市の特徴でもある製造業を中心とした産業集積を活かし、革新的な技術の創出や成長産業への展開を促進するとともに、衣浦港を拠点とした物流機能を強化することで、生産性・利便性の向上を図る事業。

【具体的な施策】

- ・ 中小企業支援
- ・ 農水産業支援
- ・ 産業基盤整備 等

イ 新しい人の流れづくりに関する事業

本市の地域資源である歴史・文化・伝統や農業、漁業、醸造業などの地場産品に加え、特色ある公共施設などを全国に発信するシティプロモーションを推進し、関係人口や交流人口を増やすことで新たな人の流れをつくる事業。

【具体的な施策】

- ・ 交流人口の増
- ・ 駅周辺の利便性向上
- ・ ふるさと応援寄付金の推進 等

ウ 結婚・出産・子育て環境づくりに関する事業

若い世代や女性が輝ける機会の拡大を図るとともに、安心して子どもを産み、育てられる環境をつくることで、移住や定住を促す事業。

【具体的な施策】

- ・ 結婚出産支援
- ・ 仕事と家庭の両立支援

- ・学校教育の充実
- ・快適な居住環境の整備 等

エ 元氣あふれる地域づくりに関する事業

誰もが健康で安心して暮らせる地域づくりのため、日ごろからの地域住民の交流を促す事業。

また、高齢になっても元気で働き、生きる楽しみや生きがいを感じられるよう、若年からのスポーツや生涯学習活動を支援する事業。

【具体的な施策】

- ・まちの担い手づくり
- ・健康寿命の延伸
- ・外国人との共生 等

※ なお、詳細は第2期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

9,300,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度8月頃、外部有識者が参画する第2期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議にて効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに碧南市公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで